

Ⅲ 耕地の利用状況

1 夏期における田本地の利用状況

(1) 平成20年夏期（おおよそ水稲の栽培期間）における田本地の利用状況をみると、水稲作付田は163万7,000ha（青刈り面積を含む。）で、前年に比べて4万1,000ha（2%）減少した。水稲以外の作物のみの作付田は44万1,000haで、前年に比べて1万2,400ha（3%）増加した。また、夏期全期不作付地は29万5,500haで、前年に比べて1万5,700ha（6%）増加した。

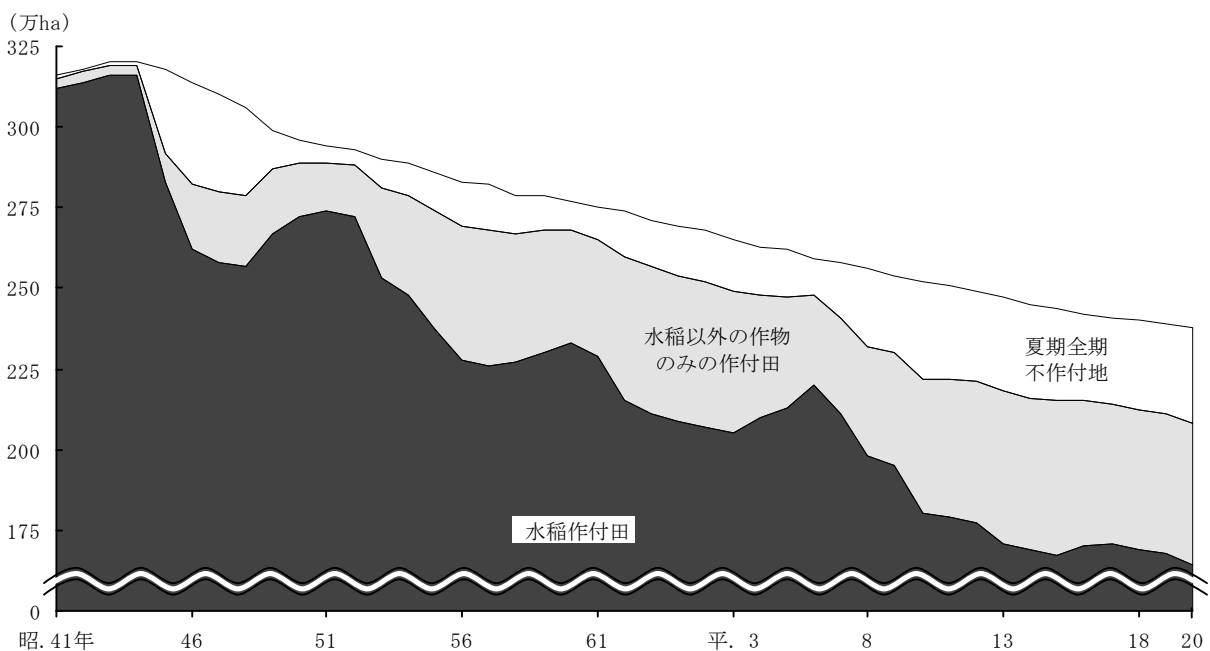
この結果、田本地に占める水稲作付田の割合は前年に比べて1.3ポイント低下して69.0%、水稲以外の作物のみの作付田の割合は前年に比べて0.6ポイント上昇して18.6%、夏期全期不作付地の割合は前年に比べて0.8ポイント上昇して12.5%となった。（表13）

表13 平成20年夏期における田本地の利用状況

区 分	面 積	前年との比較		構成比
		対 差	対 比	
	ha	ha	%	%
田 本 地	2 373 000	△ 13 000	99	100.0
水 稲 作 付 田	1 637 000	△ 41 000	98	69.0
水稲以外の作物のみの作付田	441 000	12 400	103	18.6
夏 期 全 期 不 作 付 地	295 500	15 700	106	12.5

(2) 夏期における田本地の利用状況の動向をみると、昭和45年に米の生産調整が実施されて以降、米の生産調整面積の変動による増減はあるものの、水稲作付田は減少傾向で推移し、水稲以外の作物のみの作付田及び夏期全期不作付地については増加傾向で推移している。（図19）

図19 夏期における田本地の利用状況の推移



2 農作物作付(栽培)延べ面積及び耕地利用率

(1) 農作物作付(栽培)延べ面積

ア 田畑計

平成20年農作物作付(栽培)延べ面積は426万5,000haで、前年に比べて4万1,000ha(1%)減少した。(表14)

これは、豆類、雑穀等の作付面積が増加したものの、水稻、果樹等の作付(栽培)面積が減少したためである。

作付(栽培)延べ面積の動向をみると、昭和40年代は麦類を中心とした水田裏作の減少や、45年から始まった米の生産調整による不作付地の急増により田を中心に大幅に減少を続けてきたものの、49年以降は麦類の生産振興による作付回復等からほぼ横ばいで推移した。60年以降は生産者の労働力事情等により麦類及び豆類等も減少し、平成10年からは米の生産調整の一環で麦類、豆類等の作付けは増加したものの、総体的には減少傾向で推移している。(図20)

イ 田

田の作付(栽培)延べ面積は230万1,000haで、前年に比べて2万9,000ha(1%)減少した。(表14)

これは、豆類、麦類等の作付面積が増加したものの、水稻の作付面積が減少したためである。

表14 平成20年農作物作付(栽培)延べ面積及び耕地利用率

区 分	田 畑 計				田			畑		
	作付(栽培) 延べ面積	前年との比較		耕 地 利用率	作付(栽培) 延べ面積	前年との比較		作付(栽培) 延べ面積	前年との比較	
		対差	対比			対差	対比		対差	対比
			%	%			%			%
作付(栽培)延べ面積	4 265 000	△ 41 000	99	92.2	2 301 000	△ 29 000	99	1 964 000	△ 12 000	99
稲	1 627 000	△ 46 000	97	35.2	1 624 000	△ 45 000	97	3 370	△ 470	88
麦 類	265 700	1 500	101	5.7	166 000	3 000	102	99 600	△ 1 600	98
かんしょ	40 700	0	100	0.9	3 320	200	106	37 400	△ 200	100
雑 穀	49 100	1 700	104	1.1	33 400	2 200	107	15 800	△ 400	98
豆 類	199 700	8 400	104	4.3	134 200	8 400	107	65 500	100	100
野 菜	554 400	△ 1 000	100	12.0	147 700	400	100	406 800	△ 1 300	100
果 樹	254 700	△ 3 700	99	5.5	-	-	-	254 700	△ 3 700	99
工芸農作物	172 300	△ 1 700	99	3.7	9 010	60	101	163 300	△ 1 800	99
飼肥料作物	1 012 000	0	100	21.9	155 500	1 500	101	856 600	△ 1 100	100
その他作物	88 400	△ 1 000	99	1.9	27 600	400	102	60 800	△ 1 400	98
耕地面積	4 628 000	△ 22 000	100	-	2 516 000	△ 14 000	99	2 112 000	△ 8 000	100
本地面積	4 439 000	△ 21 000	100	-	2 373 000	△ 13 000	99	2 066 000	△ 7 000	100
耕地利用率	92.2%	△0.4ポイント	-	-	91.5%	△0.6ポイント	-	93.0%	△0.2ポイント	-
本地利用率(参考)	96.1%	△0.4ポイント	-	-	97.0%	△0.7ポイント	-	95.1%	△0.2ポイント	-

注：耕地利用率及び本地利用率は、耕地面積又は本地面積に対する作付(栽培)延べ面積の割合である。

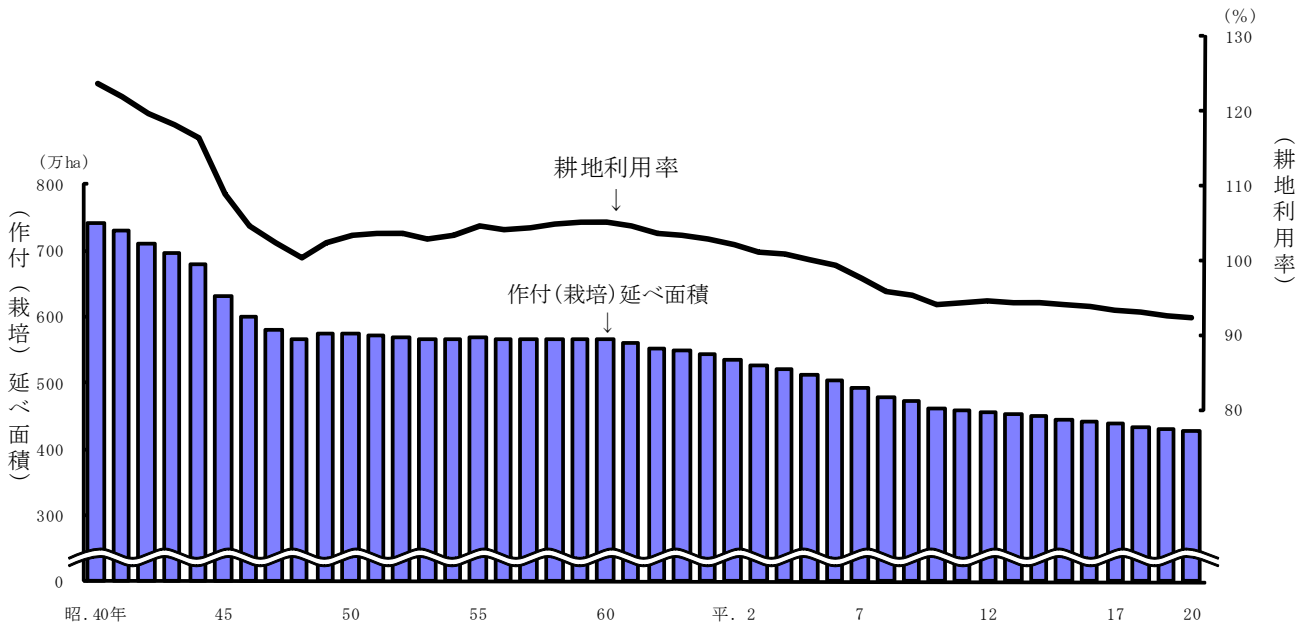
$$\text{耕地(本地)利用率(\%)} = \frac{\text{作付(栽培)延べ面積}}{\text{耕地(本地)面積(7月15日現在)}} \times 100$$

ウ 畑

畑の作付(栽培)延べ面積は196万4,000haで、前年に比べて1万2,000ha(1%)減少した。(表14)

これは、果樹、工芸農作物、麦類等の作付(栽培)面積が減少したためである。

図20 農作物作付(栽培)延べ面積及び耕地利用率の推移



(2) 耕地利用率

ア 田畑計

平成20年耕地利用率は92.2%で、前年に比べて0.4ポイント低下した。(表15)

なお、本地利用率(本地面積に対する作付(栽培)延べ面積の割合)は96.1%で、前年に比べて0.4ポイント低下した。

耕地利用率の動向をみると、昭和41年には121.9%であったが、42年以降低下傾向で推移し、平成6年には100%を下回った。平成11年に昭和59年以来15年ぶりに上昇した以降は、ほぼ横ばい傾向で推移していたが、近年は減少傾向で推移している。(図20)

イ 田

田の耕地利用率は91.5%で、前年に比べて0.6ポイント低下した。

これを全国農業地域別にみると、東海及び沖縄で上昇し、北海道では前年並みであったものの、それ以外の地域では低下した。

なお、九州では、水稻や豆類の裏作として麦類等の作付けを行う年二作体系の耕地が多いこと、沖縄では水稻の二期作が行われていること等から、それぞれ100%を上回っている。(表15)

また、本地利用率は97.0%で、前年に比べて0.7ポイント低下した。

ウ 畑

畑の耕地利用率は93.0%で、前年に比べて0.2ポイント低下した。

これを全国農業地域別にみると、九州で上昇し、中国では前年並みであったものの、それ以外の地域では低下した。

なお、北海道では、主に麦類の後作として飼肥料作物のすき込みを行う輪作があること等から、100%を上回っている。(表15)

また、本地利用率は95.1%で、前年に比べて0.2ポイント低下した。

表15 平成20年農作物作付(栽培)延べ面積及び耕地利用率(全国農業地域別)

全 国 農 業 地 域	田 畑 計			田			畑		
	作付(栽培)	耕地利用率		作付(栽培)	耕地利用率		作付(栽培)	耕地利用率	
	延べ面積	本 年	対前年差	延べ面積	本 年	対前年差	延べ面積	本 年	対前年差
	ha	%	ポ イ ント	ha	%	ポ イ ント	ha	%	ポ イ ント
全 国	4 265 000	92.2	△ 0.4	2 301 000	91.5	△ 0.6	1 964 000	93.0	△ 0.2
北 海 道	1 156 000	99.5	△ 0.1	210 800	93.5	0.0	945 400	101.0	△ 0.1
都 府 県	3 108 000	89.6	△ 0.6	2 090 000	91.3	△ 0.7	1 019 000	86.6	△ 0.4
東 北	750 000	85.7	△ 0.9	544 400	87.1	△ 1.1	205 600	82.2	△ 0.5
北 陸	281 100	87.8	△ 0.5	252 200	87.8	△ 0.5	28 900	87.3	△ 0.4
関東・東山	678 800	89.5	△ 0.8	390 500	93.3	△ 1.0	288 300	84.9	△ 0.5
東 海	245 800	89.9	△ 0.1	147 900	91.6	0.2	97 900	87.3	△ 0.6
近 畿	205 000	86.8	△ 0.5	159 200	86.9	△ 0.6	45 800	86.4	△ 0.3
中 国	201 400	79.4	△ 0.4	152 200	78.3	△ 0.4	49 200	83.2	0.0
四 国	132 300	89.8	△ 0.9	85 700	91.5	△ 0.5	46 700	87.0	△ 1.3
九 州	578 800	102.7	△ 0.1	356 700	109.3	△ 0.5	222 100	93.5	0.2
沖 縄	35 200	90.0	△ 1.0	1 080	124.6	0.6	34 100	89.3	△ 1.0